

笑顔創造

Smile creation

創刊号



発行日 2023年4月1日
発行元 京丸園株式会社
代表取締役 鈴木厚志
〒435-0022
静岡県浜松市南区鶴見町 380-1
Email kyomaru@ck.tnc.ne.jp
URL <https://www.kyomaru.net>

母親の涙

「お給料は、いらないから働かせてください」と、深々頭を下げる母親の目には涙が流れていました。私が、障がいのある息子さんの履歴書を受け取らなかったからです。私は、「障がい者は働けないだろう、農業はできないだろう」と思っていたのです。労災保険すら整備されていない家族経営の農園でしたから障がい者が農園で働く姿をイメージすることができなかつたのです。母親の涙と同時に「お給料は、いらないから働かせてください」という言葉は私にとってとても不思議に思えました。大きな会社が障がい者雇用をしているし福祉施設があるのになぜこんな小さな農園に面接にきたのでしょうか？給料はなくても働くとはどんな意味なのでしょう？障がい者の実情をまったく知らなかった私にとって謎はますます深まっていきました。

一度きりの履歴書

当時、履歴書は写真を貼り手書き自筆で提出するものでした。障がいのある人たちが一枚の履歴書を書くのにどれだけ時間をかけ字を練習し何枚書き直したことでしょう。一文字ひと文字間違えないよう丁寧に書かれた文字からは彼らの想いが伝わって来るのです。日付を書いたらもうこの履歴書は次には使用できません。そんな覚悟を決めて書いた履歴書を私は受け取ることなく母親に返していました。涙をためて寂しそうに帰る親子を見送って事務所に戻ると、壁に経営理念として掲げた『笑顔創造』の文字がありました。自分が掲げた目的地が、限りなく遠くに感じた瞬間でした。同時に彼らの履歴書を受けとれる経営者になりたい！母親の涙をみるのは、今日で最後にすると決意し彼らを雇用できる農業経営体を目指すこととなります。

ユニバーサル農業はオランダから



2003年オランダにて
シオンスガーデン(福祉農場)
クレメント・ノーテンボーン氏

日本の農業の現状は、農業人口、食料自給率の減少、遊休農地の増加が止まりません。どうしたらいいのでしょうか？農業をユニバーサルデザインして誰もが参画できる農業をデザイン出来たらどうでしょう？働き手が集まり、安全にそして効率的に働けるとしたら。地域労働力で農業が儲かるようになり経営体として強くできたら。障がい者や高齢者は福祉の対象として見られることが多いようです。しかし、ユニバーサル農業の中では、彼らの役割(仕事)が存在します。農業が福祉を担う可能性があるのです。「ユニバーサル農業」とは強い農業を作り出す戦略なのです。オランダ福祉農場マネージャーのノーテンボーンさんからの教えて農業と福祉の融合「ユニバサル農業」が誕生し20年が立ちました。この夏、再度オランダへ視察オランダケアファームを訪ね今後の農福連携・ユニバーサル農業を考えてみようと思っています。良かったら一緒にいかがですか？ご興味のある方連絡お待ちしております！！

3月16日 浜松市浜北文化センター 小ホール

ユニバーサル農業シンポジウムinはままつ

「オランダケアファームについて」

「これからの農福連携・ユニバサル農業」

YouTube 配信 有
3月20日～3月26日

申し込み



今月のことば

働くとは

自分の力が

人の役にたつこと